

目 次

I 概 要

1. 機 構	1
2. 職員ならびに事務分担	2
3. 業務内容	4
4. 予算, 決算額調	6

II 業 務 実 績

1. 所外活動	9
A 衛生教育	9
B 学会発表・他誌掲載	9
C 共同事業	10
2. 試験検査	11
A 一般依頼検査	11
1) 総 括	11
2) 実 績	12
B 行政依頼検査	16

III 調 査 研 究

1. 細菌科	29
2. ウイルス科	30
3. 食品衛生科	32
4. 衛生化学科	34
5. 環境衛生科	36
6. 成人病科	37
7. 母子衛生科	38
8. 栄養科	39

IV 資 料 ・ 報 文

微生物部

(細菌科)

1. 百日咳患者の血清学的検査成績と百日咳流行予測調査成績について	51~55
2. 県内住民のA群溶連菌に対するT凝集素保有状況について(第4報)	57~60
3. 秋田県における溶連菌とA群溶連菌の薬剤感受性試験成績について	61~64
4. サルモネラ菌の生活環境汚染実態に関する調査研究(第5報)	65~69
5. 腸チフス集団発生に伴う感染源調査成績並びにパラチフスB菌の汚染源に関する予備的調査成績について	71~75
6. 県内住民のジフテリア抗毒素保有状況について(第4報)	77~79
(ウイルス科)	
7. 下痢症に関するウイルス学的研究(第3報)	81~84
8. 昭和53, 54年度流行した手足口病患者からのウイルス分離成績について	85~89
9. 昭和55年2月大館市を中心に発生した嘔吐下痢症	91~93
10. 1978年秋田県に侵襲したEcho-21型ウイルスについて	95~98
11. 昭和54年度秋田県におけるポリオ流行予測感染源調査	99~100
12. 水性二層分配法(ポリエチレングリコールとデキストランサルフェートナトリウム)を用いたエコー9	

ウイルスの分配組成系の比較検討について	101 ~ 103
13. 秋田県内の豚におけるA型インフルエンザウイルスの感染状況	105 ~ 109
14. 人血清における牛コロナウイルスに対するHI抗体活性(第1報)	111 ~ 114
15. 1980年前期のインフルエンザ流行について	115 ~ 119
16. Immuno-double diffusion test によるA型インフルエンザの血清学的病原診断	121 ~ 123
17. 1979年度の日本脳炎流行予測調査成績について	125 ~ 131
18. 1979年度の感染症病原微生物定点観測成績について	133 ~ 140
理 化 学 部	
(食品衛生科)	
19. 有害物質を含有する家庭用品の検査(第5報) —市販衣料品及び家庭用塗料等のトリフェニルスズ含量について—	141 ~ 142
20. 合成樹脂製容器包装中の有害化学物質の調査(第5報) —ジブチルヒドロキシルエンについて—	143 ~ 144
21. 秋田県産二枚貝の貝毒について(第1報)	145 ~ 149
(衛生化学科)	
22. 秋田県における放射能調査について(昭和54年度)	151
23. 県内地熱地帯におけるヒ素について	157
(環境衛生科)	
24. 廃棄物中の有害物質及び放流水等の検査結果	161 ~ 165
25. 横手盆地の地下水のマンガンについて(第2報) —横手盆地土壌の分析結果—	167 ~ 171
26. 横手盆地の地下水のマンガンについて(第3報) —横手盆地泥炭の分析結果—	173 ~ 176
27. 秋田湾臨海周辺地区住民の重金属等調査について	177 ~ 184
生 活 科 学 部	
(成人病科)	
28. 秋田農村住民の血清脂質と脂肪酸構成(第1報)	185 ~ 187
29. 井川町における循環器精密検診未受診者の状況	189 ~ 194
(母子衛生科)	
30. 秋田県における1歳6か月児健診の地域化に関する研究 その5 昭和52~54年アンケートからみた市町村の対応状況	195
31. 秋田県における1歳6か月児健診の地域化に関する研究 その6 昭和52~54年パイロット町村健診状況	203
32. 乳幼児健診におけるアンケート併用効果 その6 54年1歳6か月児健診アンケート記入状況	213
33. 先天代謝異常スクリーニングの採血状況(アンケート調査から)	215
(栄 養 科)	
34. ヘモグロビン値と栄養素および食品摂取との関係	219
35. 低塩栄養指導の基礎的研究(第1報) —食塩摂取量10g以下の栄養素摂取量と食生活—	227
36. 低塩栄養指導の基礎的研究(第2報) —食塩摂取区分比率による評価と指導方法との関係—	233
37. 低塩栄養指導の基礎的研究(第3報) —秋田県の年齢別食塩摂取量について—	237